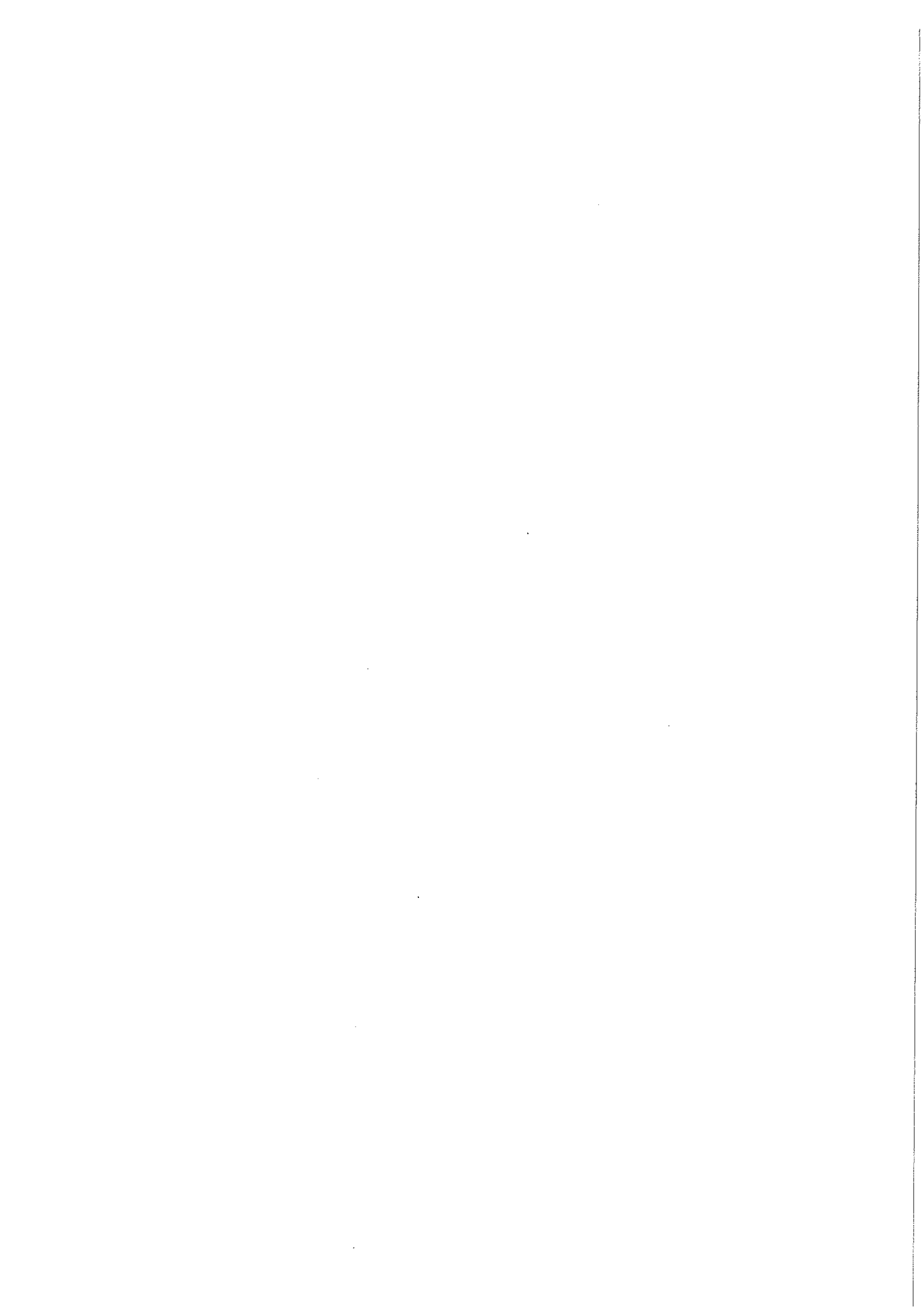


## 第1号議案 令和5年度事業報告の承認について

令和5年度事業報告書（案）を取りまとめたので、ご審議、ご承認をお願いします。

### （事業報告）

- 1 社会福祉法人同仁会
- 2 障害者支援施設のぞみ園（生活介護、施設入所支援）
- 3 短期入所事業所のぞみ園（短期入所）
- 4 共同生活事業所のぞみホーム（共同生活援助）
- 5 グレイス（生活介護）
- 6 フクちゃんのパン屋さん（就労継続支援B型）
- 7 地域活動支援センターこだま（地域活動支援センター、日中一時支援事業）
- 8 こだまクラブ（放課後等デイサービス）
- 9 相談支援事業所のぞみ（地域移行支援・地域定着支援）…[県指定]  
（特定相談支援、障害児相談支援）…[市指定]
- 10 笑福亭〔地域密着型特別養護老人ホーム〕、  
〔(介護予防)短期入所生活介護事業所〕、
- 11 エスポアール・セルプ（就労継続支援B型）
- 12 エスポアール・スター（生活介護）
- 13 エスポアール・クワノ（生活介護）
- 14 たましま寮（救護施設）



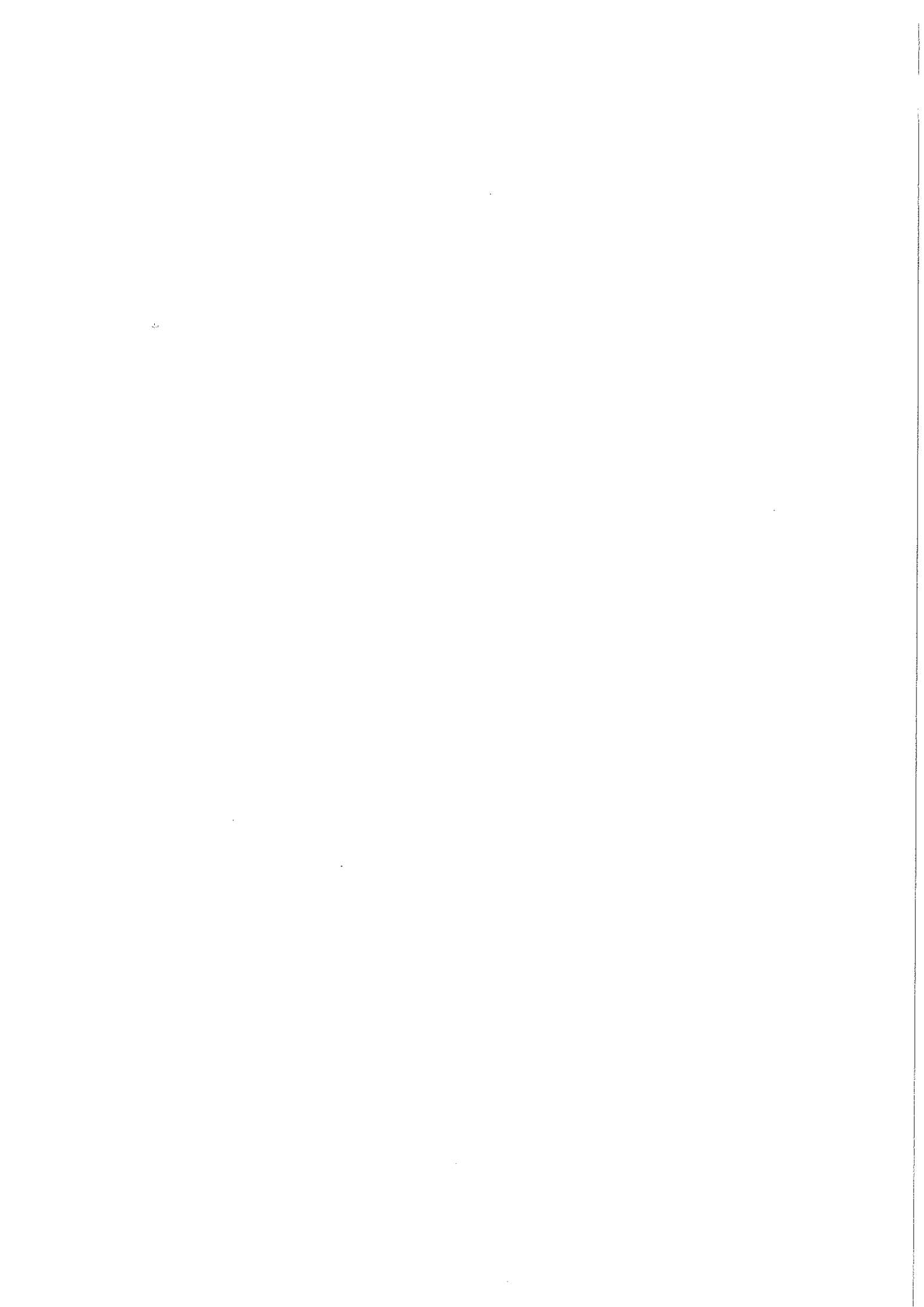
(案)

令和5年度事業報告書

令和6年6月

社会福祉法人同仁会

玉野市木目1461番地



# 令和5年度 社会福祉法人同仁会 事業報告書（案）

## 1 事業の概況

### (1) 障害者総合支援法、児童福祉法及び介護保険法等に基づく事業について

事業所名 (サービス種別)	定員 (名)	所在地	事業開始 (定員変更)
障害者支援施設のぞみ園 (障害者支援、生活介護)	80	玉野市木目1461	H01.04.01 (50) 敷30・中軽20 H10.07.01 (80) 敷60・中軽20
短期入所事業所のぞみ園 (短期入所)	8	同上	H02.04.01 (2) H10.07.01 (8)
共同生活事業所のぞみホーム (共同生活援助)	20	同上	H18.10.01
グレイス (生活介護)	20	同上	H16.04.01(25) R04.02.01(20)
多機能事業所希望オブライフ ・希望 ※廃止 (就労移行支援) ・ライフ ※廃止 (就労継続支援A型)	6 14	玉野市長尾185-3	R06.03.31
フクちゃんのパン屋さん (就労継続支援B型)	20	玉野市長尾184-5	H27.06.01
相談支援事業所のぞみ (地域移行支援、地域定着支援、特定相談支援、障害児相談支援)	—	玉野市木目1461	H18.10.01

地域活動支援センターこだま (日中一時支援事業含む)	15	玉野市木目 1280-1	H18. 10. 01
こだまクラブ (放課後等デイサービス)	10	玉野市木目 1282-2	H25. 04. 01
笑福亭 (特別養護老人ホーム) (老人短期入所、)	29 10	岡山市中区桑野 525-125	H24. 07. 01 H24. 07. 01
デイサービスくわの (地域密着型通所介護、介護 予防通所サービス、共生型生 活介護) ※休止	10	同上	R01. 12. 01
ケアプランくわの (居宅介護支援) ※休止	—	同上	R01. 12. 01
エスポアール・セルプ (就労継続支援B型)	35	岡山市北区福谷5 3 番地	H26. 04. 01
エスポアール・スター (生活介護)	37	同上	H26. 04. 01
エスポアール・クワノ (生活介護)	20	岡山市中区桑野 525-126	H27. 05. 01
たましま寮 (救護施設)	40	倉敷市玉島八島 1385-1	R04. 04. 01

(2) 主な施設設備の整備について

整備内容			経費(千円)
施設			0
	小計		0
設備	のぞみ園	厨房スパー次亜水生成装置	1,375
	のぞみ園	居室エアコン2台	230
	のぞみ園	アルコールチェッカー顔認証型カウンタースタンド	178
	フクちゃんのパン屋さん	ホンダフリード寄贈	140
	笑福亭	車いす体重計1台	204
	笑福亭	ノートパソコン1台	212
	エスポール・セルプ	ノートパソコン1台	152
	玉島寮	厨房倉庫ルームエアコン	198
	小計		2,689
	修繕修理	車修理	14台
エアコン		3か所	637
その他		1か所, 2台	598
		4,012	
合計			6,701千円

2 理事会に関する事項

回	開催年月日	決議事項
1	R05.06.05 提案 R05.06.09 決議	1 令和4年度事業報告の承認について 2 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について 3 就業規則の改正について 4 令和5年度事業計画の一部変更について 5 次期役員(理事及び監事)の選定について 6 令和5年度第1回評議員会の招集事項について

2	R05. 06. 19 提案 R05. 06. 19 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 代表理事(理事長)の選定について</li> <li>2 業務執行理事の選定について</li> <li>3 社会福祉法人同仁会顧問の選任について</li> <li>4 令和5年度第1時収支補正予算について</li> <li>5 令和5年度第2回評議員会の招集事項について</li> </ol>
3	R05. 10. 24 提案 R05. 10. 24 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 定款細則の改正について</li> <li>2 就業規則の改正について</li> <li>3 経理規程の改正について</li> <li>4 特定個人情報取扱規程の改正について</li> <li>5 児童福祉法に基づくこだまクラブ(放課後等デイサービス)運営規程の改正について</li> </ol>
4	R05. 12. 06 提案 R05. 12. 06 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 笑福亭のトマト銀行からの長期借入について</li> <li>2 令和5年度第3回評議員会の招集事項について</li> </ol>
5	R06. 01. 15 提案 R05. 01. 18 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホープオブライフ(多機能型事業所)の廃止について</li> </ol>
6	R06. 03. 13 提案 R05. 03. 18 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度第3次収支補正予算について</li> <li>2 令和6年度事業計画について</li> <li>3 令和6年度収支予算について</li> <li>4 就業規則(給与規程含む。)の改正について</li> <li>5 運営規程の改正について</li> <li>6 経理規程の改正について</li> <li>7 給食業務委託先の継続について</li> <li>8 令和5年度第4回評議員会の招集事項について</li> </ol>
7	R06. 03. 25 提案 R05. 03. 29 決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運営規程の改正について</li> </ol>



### 3 役員に関する事項

	選任年月日	氏 名	備 考
理事	R05. 06. 15	山岡 宏行	理事長 (前回選任: R03. 06. 14)
		宇野 省一	( // )
		遠迫 美由紀	( // )
		濱川 雅夫	業務執行理事 ( // )
		速見 克子	( // )
		三浦 康男	前任: 瀧口 誠
監事	R05. 06. 15	伊東 孝明	(前回選任: R03. 06. 14)
	R05. 06. 15	西村 薫三	( // )

### 4 評議員会に関する事項

回	開催年月日	決 議 事 項
1	R05. 06. 09 提案 R05. 06. 15 決議	1 令和4年度事業報告の承認について 2 令和4年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 3 令和5年度事業計画の一部変更について 4 次期役員(理事及び監事)候補者の選定
2	R05. 06. 30 提案 R05. 07. 14 決議	1 令和5年度第1次収支補正予算について
3	R05. 12. 06 提案 R05. 12. 12 決議	1 笑福亭のトマト銀行からの長期借入について 2 令和5年度第2次収支補正予算について
4	R06. 03. 18 提案 R06. 03. 26 決議	1 令和5年度第3次収支補正予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度収支予算について

5 評議員に関する事項

	選任年月日	氏 名	備 考
評 議 員	R03. 05. 20	遠藤 弘良	前任：佐藤 陽慈 前任：多田 勝久
	R05. 03. 22	新 俊彦	
	R04. 06. 14	山上 誠二	
	R03. 05. 20	綱島 啓司	
	R03. 05. 20	三宅 和子	
	R03. 05. 20	三宅 三郎	
	R03. 05. 20	柚木 範博	

6 法人登記に関する事項

登記年月日	登 記 事 項
R05. 06. 26申請	資産総額の変更

7 長期借入金に関する事項

借入先：独立行政法人福祉医療機構…①～⑤、⑩～⑫

トマト銀行…⑥、⑭ 中国銀行…⑦

(令和5年度)

借 入 金	期首残高(円)	利 率 (%)	当期減少額(円)	期末残高(円)
①のぞみ園舎・グレイス新築資金 借入金 60,000,000円 借入年月日 平成15年12月15日 償還期間 平成16年12月～元金均等20年間 平成17年12月21日まで無利子	3,000,000	1.60	3,000,000 (当期支払利息) 48,000	0
②のぞみ園舎増改築資金 借入金 50,000,000円 借入年月日 平成17年8月22日 償還期間 平成18年8月～元金均等20年間 平成20年8月10日まで無利子	5,000,000	1.60	2,500,000 (当期支払利息) 100,000	2,500,000
③やまもハウス設置・整備資金 借入金 15,000,000円 借入年月日 平成22年6月11日 償還期間 平成22年8月～元金均等15年間	2,376,000	1.40	1,056,000 (当期支払利息) 28,380	1,320,000

<b>④笑福亭新築資金</b> 借入金 253,000,000円 借入年月日 平成24年3月8日 償還期間 平成24年5月~22年間	144,624,000	1.01	13,248,000 (当期支払利息) 762,036	131,376,000
<b>⑤のぞみホームスプリンクラー整備資金</b> 借入金 16,800,000円 借入年月日 平成27年8月4日 償還期間 平成27年7月~14年間	8,712,000	0.750 0.24	1,188,000 (当期支払利息) 61,252	7,524,000
<b>⑥のぞみ園土地取得資金</b> 借入金 10,000,000円 借入年月日 令和01年11月08日 償還期間 令和01年11月~5年間	3,235,000	0.875	1,980,000 (当期支払利息) 19,003	1,255,000
<b>⑦笑福亭ダイサービスくわの等開設資金</b> 借入金 32,000,000円 借入年月日 令和01年10月29日 償還期間 令和02年11月~8年間	22,343,000	0.9	3,996,000 (当期支払利息) 183,504	18,347,000
<b>⑧笑福亭 経営資金</b> 借入金 38,000,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月~9年間	38,000,000	0.450	2,156,000 (当期支払利息) 25,250	35,844,000
<b>⑨グレイス 経営資金</b> 借入金 5,600,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月~9年間	5,600,000	0.450	347,000 (当期支払利息) 3,712	5,253,000
<b>⑩フクちゃんのパン屋さん 経営資金</b> 借入金 2,500,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月~9年間	2,500,000	0.450	234,000 (当期支払利息) 1,639	2,266,000
<b>⑪のぞみ園 経営資金</b> 借入金 14,400,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月~10年間	14,400,000	1.550	0 (当期支払利息) 95,005	14,400,000
<b>⑫エスポール・スター 経営資金</b> 借入金 10,000,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月~10年間	10,000,000	1.550	0 (当期支払利息) 65,976	10,000,000
<b>⑬エスポール・クワノ 経営資金</b> 借入金 5,000,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月~10年間	5,000,000	1.550	0 (当期支払利息) 32,988	5,000,000

<b>⑭笑福亭 経営資金</b> 借入金 30,000,000円 借入年月日 令和05年12月15日 償還期間 令和06年01月~05年間	30,000,000	1.500	1,500,000 (当期支払利息) 109,580	28,500,000
合 計	294,790,000		31,205,000 (当期支払利息) 1,536,325	263,585,000

# 令和5年度 障害者支援施設のぞみ園事業報告書（案）

## I はじめに

令和5年度も、のぞみ園における収支改善と事業内容、地域との交流、連携等について事業を行った。  
 利用者の希望や要望に十分応えることができるよう、昨年度も個別モニタリング、支援計画の会議及び作成を行った。2020年来流行している新型コロナウイルス感染症は第5類感染症に移行したことにより、利用者の生活も感染対策を第一に考えながら行動制限を徐々に緩和していった。支援計画・モニタリングにおいても3年ぶりに対面での説明会を試みたが、直前に感染症が施設内で流行したためやむを得ず郵送等で説明を行った。  
 地域生活支援の面では、相談支援事業所と連携して施設の専門性や相談機能を地域に生かすために、感染状況を見ながら、短期入所利用時の対応や入所・通所の相談活動にあたった。地域の人々との行事や、ボランティア活動などでの交流については、流行の状況を見ながら調整していった。

## II 事業とその成果

I 支援内容の充実 II 家庭との連携と家族会活動の充実及び地域との交流  
 III 環境整備・保健の充実 IV 施設整備 V 職員研修の充実の5点を中心に、職員・利用者・ご家族が一体となって努力してきた。

## III 入所及び退所状況

令和5年度における退所者は3名。新規入所者は、令和5年8月に男性2名、令和6年2月に女性1名であった。

## IV 具体的な支援内容

令和5年度は、社会参加を目指して、「本人の意思を尊重し」、「人権の擁護」を確立しながら生活支援や活動支援にあたり、感染状況を勘案しながら地域交流事業に取り組んだ。  
 また、各種の領域活動や委員会での利用者支援体制の充実に努めた。

## V 保健衛生

### ○予防医療

項目	実施内容
健康診断	胸部レントゲン撮影・心電図 血液一般・検尿他 (年1回)
内科検診	4月11月 (年2回)
精神科検診	6月10月2月 (年3回)
歯科検診	
蟻虫検査	5月1日～5月23日
結核予防	胸部レントゲン検査 (淳風会検診車1名 主治医 その他医院55名)
身体計測	年1回 体重 毎月

平熱・血圧測定	随時
成人病検診	基本健康診査・胃癌・大腸癌・子宮癌・乳癌・肺癌
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防対策</li> <li>ワクチン接種（インフルエンザ80名）</li> <li>新型コロナワクチン70名</li> <li>イソジンによるうがい</li> <li>手指消毒</li> <li>・微酸性水による加湿</li> <li>・特別汚染場所の消毒</li> <li>・個別健康記録の作成</li> <li>・感染症マニュアル（特に新型コロナウイルスを中心に）</li> <li>・通院予定表の作成</li> <li>・レジオネラ菌検査 7月</li> </ul>

○通院状況（別紙参照）

## VI 防災教育

### 1, 総合防災訓練の実施

実施日	訓練内容	参加人数
7/26	消火訓練・通報訓練・避難訓練	136人
9/28	日中活動班別避難訓練	各作業班
10/10	日中活動班別避難訓練	各作業班
/	夜間想定避難訓練（実施予定であったが、園内で感染症拡大の 為行えず）	
/		

※ 7/26 の訓練については、消防署立ち会いの下に実施し、指導を受けた。

### 2, 新人職員教育の実施

- ・防災関連の指導・説明会の実施（7/26の総合防災訓練時）
- ・操作機器の取り扱い訓練の実施（7/26の総合防災訓練時）

### 3, その他

地震防災計画の作成・感染症流行時の事業継続計画の作成を行った。

## VII 給食 別紙一参照

## VIII リスク管理 苦情解決

活動中や生活場面でのリスクを軽減するために、ケガや物損等の事故やヒヤリハットの事例を報告書にまとめ、支援員会議等の機会を設けてケース検討を行った。また、物損事故等があった時にはAIG保険申請の代行を適切に行うことで利用者各自の負担を軽減し、原状回復を図ることが定着してきた。

昨年度は新型コロナウイルスが第5類に移行したことにより、職員が集まって研修を行うことも徐々に行えるように計画していった。感染状況により行えなかった研修もあるが、外部研修の参加も行える回数が増えてきた。

## IX 各種委員会

職員が豊かで暖かい利用者主体のサービスを提供していくために、倫理綱領と行動規範の周知徹底を図った。

障害者虐待防止法の施行により、虐待防止委員会、研修の開催が努力義務から義務に移行するため、人権や虐待に対する意識を高められるよう共同の学習会を持ち、職員の啓発活動を行った。

障害者の権利擁護や専門的援助を受ける権利をより充実できるよう研修を通じて支援した。

# 令和5年度 短期入所事業所のぞみ園事業報告書

## 1. 目的

この事業は、地域で生活する障害者に対して、法の理念に基づき、障害者が必要なときに必要なサービス「知的障害者短期入所事業」を提供し、利用する障害者が有効に施設を活用し、豊かな生活が継続できるように提供していくことを目的とした。

短期入所の利用については利用者個々のニーズに応じて本体施設であるのぞみ園の作業や余暇、文化活動等に参加してもらったり、通い慣れた日中活動事業所へ通所してもらうなど柔軟に対応していくことにより、日常生活の充実を図っていった。夜間においては個々の利用者のニーズを把握し、適切な対応をしていきながら、利用者の生活スタイルを尊重し、利用する人が満足できるようサービスを提供した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、行動制限についても少しずつ緩和されていった。それに伴って、今まで通りの感染予防対策は継続しながら、受け入れを拡大していった。

## 2. 職員

日々の運営は、施設長を中心に生活支援員、作業指導員、介助員、医師、看護師、栄養士、調理員、事務員が力を合わせて24時間体制で利用者の支援や指導にあたった。

職員は、①人間愛に満ち、思慮深い人であること、②自己に厳しく、向上心に燃えた人であること③健康で明朗な人、の3点の目標を持って日々の支援や指導にあたった。

短期入所を利用する方への社会参加や自立支援に貢献し、また、在宅障害者への支援を図ってきた。

## 3. 支援・訓練と援助サービスの具体的方針と内容

在宅サービス実施に伴う支援体制をすすめるため、令和5年度も相談支援専門員と連携した。

障害者総合支援法の改正を受けて、市町村とのより一層の連携に努めるとともに、一人でも多くの利用者の社会参加と生活の安定を目指した。

また、本人や家族の希望や留意事項について、本人、家族の意向に添えるよう図った。

## 4. 防災

のぞみ園の防災体制に則り、別途定めた防災及び消防計画に基づいて、特に地震、火災に対する安全管理に努めた。

リスクマネジメント委員会を設置し、事故防止に努めるとともに、被害管理にも努めてきた。また、感染症対策として、インフルエンザ対策及



び新型コロナウイルス対策を行った。

#### 5. 給食（給食委員会）

食生活は、単に健康の維持・増進ばかりでなく、嗜好を満たし、精神的満足感を覚えるものであるため、利用者個々が豊かな食生活を送れるようなサービスの提供に努めた。また、障害の状態に応じて個人の食形態も柔軟に対応した。

#### 6. 各種委員会

職員が豊かで暖かい利用者主体のサービスを提供していくために、倫理綱領と行動規範の周知徹底を図った。

障害者虐待防止法の施行により、虐待防止委員会、研修の開催が努力義務から義務に移行するため、人権や虐待に対する意識を高められるよう共同の学習会を持ち、職員の啓発活動を行った。

障害者の権利擁護や専門的援助を受ける権利をより充実できるよう研修を通じて支援した。

令和5年度月別延べ利用実績（単位 上段＝実人数 下段＝延べ利用日数）

※令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、徐々に行動制限が緩和されていったため、感染予防対策を従来通り行いながら受け入れを行っていった。利用率は、毎月一定数の確保ができていた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	6	6	9	10	7	5	9	7	3	4	78
26	31	49	28	52	83	63	54	66	50	11	10	523

# 令和5年度共同生活事業所のぞみホーム事業報告書

## 1, 共同生活援助事業所のぞみホームの運営・設置場所

### ①もくめハウス

所在地 玉野市木目1282-1  
定員 7名  
在籍者数 6名(6名)

### ②さくらハウス

所在地 玉野市八浜町大崎953  
定員 4名  
在籍者数 4名(4名)

### ③未来ハウス

所在地 玉野市用吉1777-53  
定員 4名  
在籍者数 3名(3名)

### ④やまももハウス

所在地 玉野市八浜町大崎955  
定員 5名  
在籍者数 5名(5名)

※ ( ) 内の数字は前年度利用者在籍数。

## 2, 概況

令和5年度も、利用者一人一人が健康で豊かな自立した地域の一員として社会生活を送れるようにするため、共同生活事業所のぞみホームは現在4棟のグループホームでそれぞれ入居者の能力等に応じて日常生活に必要な介助・援助・相談支援・各種手続き等を行い、地域生活を送る上で各連機関と連携し、支援を行った。

## 3, 利用者への支援

### (1) 食事提供(基本的に朝～夜)

栄養管理、買い物、食事準備、食堂・台所・食器・食材等の管理および援助を行った。令和5年度も栄養管理とともに衛生面や利用者個々の健康の維持増進のため、地域の食材宅配サービスを利用し、調理・提供することで目的に対する効果が確認できた。

### (2) 金銭出納に関する支援

負担金の徴収、管理支払等を行い、個別の金銭出納帳のチェック代行および自己管理の援助を行った。

### (3) 健康管理

服薬 通院 受診の助言・同伴、朝夕の健康チェックを行い、バックアップ施設の医務や嘱託医師と連絡を取りながら疾病の予防・経過観察・治療等の援助を行った。

(4) 日常生活上の介護、援助、相談、助言などを行った。また新型肺炎の流行に伴い、従来の住環境の整備・消毒を行うとともに物品の補充と管理、生活用品購入の代行等を行った。

### (5) 家庭との連携

定期的な帰宅および盆休みや正月休み等の帰省の際に、日頃の暮らしぶりや最近の様子などを伝え、家族との連携に努めた。また、家族からの支援が困難な利用者は、後見人と協力して、必要な手続き等を行った。

### (6) 余暇支援や趣味の提供

地域の行事や活動支援センター等に参加し、余暇利用への支援を行った。また、スタッフとの外出なども適宜行った。

### (7) 放浪癖のある利用者および発達障害者の方への支援

放浪癖のある利用者への支援について、日頃から放浪への意識の軽減を図り落ち着いて生活出来るよう支援を行った。発達障害を持つ利用者に対しては、引き続き安定した就労ができるように職場や家族と情報共有を図ったり、家族の協力を得てかかりつけの病院での心理カウンセリング等を受けたりするなど、情緒の安定等に努めた。

### (8) その他

行政機関等との連絡調整、職場訪問の実施を適宜行った。

## 4. 運営主体及びバックアップ施設・日中活動施設との連携

各事業所間で連絡を密にして、利用者一人一人の活動予定を把握していき、スムーズな活動参加ができるように支援を行った。

## 5. 地域との関係

町内会等の行事(クリーン作戦など)には積極的に参加し、地域の交流に努めた。また、各ハウスでの状況に応じた想定で防災訓練を行った。

## 6. 防災計画

夏季に日中と夜間、冬季に日中の避難訓練を各ハウスで行った。

#### 7、日課

午前	6時30分	起床	洗面	朝食準備
	7時	朝食	片づけ	
	8時30分	出勤		
	9時	一般就労、各日中活動事業所で活動		
午後		作業に参加		
	4時	それぞれのハウスへ戻る		
	5時	帰宅	夕食準備	
	6時00分	夕食		
	8時	入浴	団らん	
	10時	就床		

#### 8、協力医療機関

総合 玉野市民病院  
精神科 由良病院 青井医院  
内科 竹原内科医院 三宅内科外科医院  
外科 たまメディカルリハビリテーションクリニック  
三宅内科外科医院  
眼科 井上眼科  
歯科 谷歯科医院

これらの協力医療機関と連携を図り、利用者の健康管理や、情緒の安定に努めた。

#### 9、その他

- ① 安定した自立生活に向け、支援者(保護者)やバックアップ施設のぞみ園、それぞれの日中活動事業所との連携に努めた。
- ② 各ハウスの入居者のサービス提供状況・支援内容の検討を毎月スタッフ会議で行い、支援につながるように配慮した。また、個別でのこまかな支援や入居希望者の支援計画が必要な際は、関係者が集まって随時ケア会議を開催し、支援についての意見交換、検討を行った。
- ③ ハウス敷地内の草刈りなど環境整備に努めた。
- ④ 障害者虐待防止のための資料の提示、感染症対策等を行った。

# 令和5年度 グレイス（生活介護事業所）事業報告書（案）

## 1 事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、利用者の意思決定を尊重し、生きがいを持って生活することができるよう療育活動、作業、創作、身辺介助、相談援助、健康管理、食事提供等を行った。

## 2 運営の実績

(1) 令和6年3月の障害支援区分（入所者2人、退所者0人）

区分4	区分5	区分6	合計
1人	9人	8人	18人

(2) 利用状況及び延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数 (日)	23	22	24	23	22	23	23	22	22	21	22	23	270
延利用者	344	328	367	295	330	340	363	331	349	321	336	350	4,054

(3) 主な加算状況

人員配置体制加算	I (1.7:1)
食事提供体制加算	
欠席加算	欠席された際、相談援助を実施
福祉専門職員配置等加算	Ⅲ（勤続3年以上の常勤職員の割合が30%以上）
重度障害者支援加算	重度障害者に対して手厚い支援を実施
送迎体制加算（I）	1回の送迎につき、平均10人以上が利用し、かつ、週3回以上の送迎を実施に該当
送迎体制加算（重度）	送迎を利用する者のうち、区分5若しくは区分6に該当する者が100分の60以上に該当

(4) 利用者支援の実績

水曜と土曜は療育的な活動を実施し、その他の曜日は作業支援を行った。利用者の希望や意思を確認しながら参加していただいた。

作業名	内容
緑化協会委託作業	田井みなと公園内の清掃を行った。
軽作業	
製作（創作）	パッチワーク、ペーパークラフト等を製作した。

第1水曜	第2水曜	第3水曜	第4水曜	土曜開所
歩行訓練、療育、クラブ	歩行訓練、療育、(買い物学習)	歩行訓練、療育、誕生日会	歩行訓練、療育クラブ	療育 外出支援

### 3 職員配置状況 (人員配置体制加算 I と重度障害者支援加算を算定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必要人数	10.0	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
常勤換算後の人数	11.9	11.7	12.3	11.7	11.5	11.9	11.9	11.8	12.0	11.7	11.5	14.0

所長 (兼務)	1人	事務総括局長補佐、のぞみ園生活支援員
管理者	1人	生活支援員と兼務 (常勤換算 1.0)
サービス管理責任者	1人	
看護師 (兼務)	1人	のぞみ園看護師兼務
事務員	1人	のぞみ園支援員兼務
生活支援員	14人	常勤専従 9人 (管理者含む) 常勤兼務 1人 非常勤専従 4人
技能実習生	2人	

### 4 職員研修

- ・強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修、実践研修)
- ・技能実習生活指導員オンライン研修
- ・技能実習指導員オンライン研修

### 5 虐待防止への取り組み

- ・虐待防止セルフチェックを実施。
- ・グレイス虐待防止委員会 (身体拘束適正化委員会) を実施。

### 6 BCP (事業継続計画) 訓練・研修

- ・スタンダードプリコーション (標準予防策) についての研修。
- ・アイガードを使用した訓練を実施した。

## 7 主な行事等

4月	内科検診	10月	1日外出（福田公園） ハロウィンレク
5月		11月	胸部レントゲン 内科検診 ストレスチェック
6月		12月	クリスマス会 アルコール検知器使用
7月	避難訓練	1月	初詣 避難訓練（地震を想定） ランチ会（外食）
8月	夏祭り風レク	2月	
9月		3月	

## 8 全体総括

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、徐々にコロナ禍前の運営に戻したが、7月には当所内でクラスターが起り、利用者9人、職員9人が陽性になった。感染防止対策の維持継続の必要性を再認識し、BCP訓練の場でスタンダードプリコーション（標準予防策）を学習した。その後、1月に『ランチ会』という外食行事を提供できたことは、利用者の満足度を高めることができたと思われる。

虐待防止委員会（身体拘束等適正化委員会を含む）については合計10回実施し、事例を参考に虐待防止について学んだ。委員長、副委員長、マネジャー以外からの発言は少なく、白熱した話し合いにはなっていないが、今後も報道された虐待事例を参考に魅力的な委員会を目指していきたい。

8月に、ミャンマーからの技能実習生を受け入れた。技能実習指導員と技能実習生活指導員はオンラインで研修を受講した。技能実習制度の廃止と育成就労制度の創設が決定され、今後は外国人材の育成と人材確保を目的とした取り組みが進むことが予想される。当所内でも労働環境をより快適にしていくことができるよう取り組みたい。

12月のアルコール検知器使用義務化に伴い、運転を担当する職員には毎日アルコール検知器を使用し、報告する体制を整えた。安全運転の意識を引き続き、維持していきたい。

次年度の報酬改定では、生活介護の基本報酬は時間によって細分化されることになった。制度の概要やQ&Aを熟読しながら増収対策を図り、安定した運営を心がけていきたい。

令和5年度 就労継続支援B型事業所  
フクちゃんのパン屋さん事業報告書（案）

1. 目的及び基本方針について

一般就労が困難な利用者に対して、個別支援計画を基に作業の提供を通して自立を促進できるよう適切な就労継続支援を行った。

2. 職員体制および利用定員

1) 所長／作業指導員（非常勤1名）

副所長／管理者（常勤兼務1名）

サービス管理責任者（常勤1名）

目標工賃達成指導員（常勤1名）

職業指導員（常勤1名／常勤兼務1名／非常勤2名）

生活支援員（非常勤3名）

職業指導員等の常勤換算上の人員配置は5.1人で基準以上。

\*常勤換算上の職業指導員等の常勤が1名しかいないのが課題。

2) 利用定員 20名（契約者 25名）\*令和5年3月31日時点

今年度は、5名が退所、新たに3名入所される。平均利用人数は18.3人。

3. 活動内容について

- ・パン、ラスク、クッキーなどの製造、加工、販売（店舗及び外部販売）
- ・箱折作業（施設外就労）



- ・軽作業（ヤマサキ珍味受託作業） ・名刺作成（法人内からの受注請負）
- ・その他季節的な受託作業（JA 関連）、クリーニング作業の見学、体験
- ・土曜開所日の活動（調理実習、買い物学習、運動・スポーツ等）

#### 4. 収入（売上） ＊別紙参照

#### 5. 平均工賃月額（＊計算方法が変更した）

工賃総額は 3,721,825 円で平均工賃月額は 16,948 円で、目標を達成。

#### 6. 職員研修等実施状況

##### 1) 虐待防止関係

- ・虐待防止研修（対職員）・・・2023 年 12 月 26 日
- ・虐待防止責任者の設置・・・2022 年 3 月 9 日（管理者 柏山 幸雄）  
2023 年 4 月 1 日（管理者 堀井 元）
- ・虐待防止委員会の設置・・・2022 年 3 月 9 日
- ・虐待防止委員会の開催・・・2022 年 6 月 25 日  
2023 年 7 月 29 日  
2023 年 11 月 28 日
- ・身体拘束等の適正化のための指針作成・・・2022 年 6 月 25 日

##### 2) 業務継続計画の策定

- 災害発生時編・・・2023 年 7 月 1 日
- 感染症発生時編・・・2023 年 12 月 1 日

##### 3) 感染症対策

- ・感染症防止対策委員会 設置・・・2023年 7月1日  
開催・・・2023年12月1日

- ・感染対策指針・・・2023年12月1日
- ・感染症予防防止研修・・・2024年3月22日

#### 4) 消防訓練

- ・避難訓練（火災）・・・2023年4月1日
- ・避難訓練（地震）・・・2024年3月23日

#### 5) その他

- ・サービス管理責任者 実践研修への参加
- ・苦情処理解決のための研修参加
- ・災害派遣への応援、協力

### 7. 成果と課題

自治会活動を通して、自発的に活動をする場面も増えてきている。対外的な見学や実習に関しても可能な限り対応を行っており、新規利用者の獲得もでき、利用者数も在籍20名から25名に増えた。

また、在籍者数が増える中、支援の質向上と工賃向上を充実させていくためには、自主生産の見直し（経費・人手がかかる）と、施設外就労の見直し、充実が必要となってきた。

最後に、今一度職員一同原点に立ち返り、就労継続支援B型の役割の再確認をすると同時に、多様なニーズのある利用者が満足できる作業提供を通して自立を実感していただき、安定した運営と、魅力ある事業所作りを目指していきたい。

収入状況(2023年)

2023年	2022年度	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	23年度	対前年比(%)
訓練等給付費	38,876,396	3,827,678	3,310,098	3,705,768	3,497,998	3,263,198	3,482,426	3,600,753	3,105,813	3,100,040	3,139,264	3,336,594	3,362,955	40,732,585	104.8
パン販売等	9,242,370	816,100	602,350	851,740	794,870	627,260	715,220	762,650	774,170	578,350	687,300	731,390	954,130	8,895,530	96.2
箱折	372,158	23,317	25,977	37,794	59,110	44,694	53,136	30,576	22,088	22,544	22,040	22,456	21,168	384,900	103.4
軽作業(珍珠)	3,276,445	321,727	301,629	337,666	315,339	306,005	295,353	305,101	301,299	251,897	669,776	294,865	296,171	3,996,828	122.0
計	51,767,369	4,988,822	4,240,054	4,932,968	4,667,317	4,241,157	4,546,135	4,699,080	4,203,370	3,952,831	4,518,380	4,385,305	4,634,424	54,009,843	104.3
対前年比	99.4	104.9	98.5	99.3	135.3	100.4	108.8	106.8	94.9	91.6	111.3	111.6	97.4	104.3	

# 令和5年度 地域活動支援センターこだま事業報告

## 1.総合評価

「地域活動支援センターこだま」は、土日祝開所の事業所として柔軟に運営し、利用者支援運営方針として

- ① 余暇にあっては豊かな体験や社会参加の促進
- ② 生産活動にあっては主体性を重んじたゆったりした日課の流れ  
これら2方針を挙げて、利用者の個性に応じた活動に取り組んできました。
- ③ 令和2年度より開始された「ドッグフード商品シール貼り」も順調で、利用者の積極的な作業参加が見られ、「箸入れ作業」との作業を励んでいます。
- ④ 日中一時支援事業は、放課後等デイサービス利用児童の増加が顕著であり、利用者数は年々増加となっています。

## 2.地域活動支援センターⅡ型事業

Ⅱ型事業所として利用者も定着し、活気づいた生産活動を行っています。

- ① 余暇にあっては豊かな体験や社会参加の促進
- ② 社会適応可能となるよう訓練
- ③ レクリエーション・創作活動の実施
- ④ 毎朝、検温による健康観察の実施

### 令和5年度地域活動支援センターⅡ型の活動状況(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延べ数	137	146	147	144	143	166	170	165	163	161	149	151	1,842名

## 3.日中一時支援事業

土日祝日の日中一時支援事業も利用が定着し、特に土日祝の利用希望が多くニーズの高さが伺えます。

### 令和5年度日中一時支援事業の活動状況(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延べ数	245	243	254	244	255	210	238	213	209	196	215	252	2,774名

## 4.こだま事業全体での概要

### 令和4年度利用状況

利用者	平均年齢
	23才

契約者数	契約者数
	54名

	重度	中度	軽度	
利用者	A	B	C	合計
	51%	35%	14%	100%

## 令和5年度 こだまクラブ事業報告（案）

### 1. 概要

放課後等デイサービスは、障害のある子どもの自立や社会参加の体験・訓練の事業所として取り組んできました。

昨年度比契約者数+4、利用数4%減と安定して推移してきました。

一方、放デイには利用数が限られるため、「安心して預けたい」方のための日中一時支援は昨年度比76%増、卒業後も見守り支援が必要な利用者の存在があり、この動向は今後も続くものと思われまます。

過去7年間の 利用数	契約者数 (年度末)	利用数 (年間)	平均利用数 月/日	記事
令和3年度	34	2,183	181.9/8.3	報酬改定
令和4年度	24	2,043	170.2/7.7	
令和5年度	27	1,949	162.4/7.4	

### 2. サービス提供

療育は集団療育を基本としつつ、学習等個別療育を組み合わせました。集団療育では様々な子どもの中で集団の過ごし方を学びました。

活動内容は曜日ごとに内容が固定しないよう配慮しました。

個別支援では学習支援の他に各自の課題に取り組みました。

子どもに見通しをもって参加できるように「見える化」に努めました。

こうして「やればできる」と自己肯定感を高めることに留意しました。

主な内容は音楽療法、和太鼓、描画や造形、からだ、むかし遊び、調理、季節の行事、社会資源の活用、園芸、稲の栽培と稲刈りや脱穀体験等

### 3. 組織体制、安全、研修その他

- (1) 職員は基準配置の他に保育士を加配し、加配加算体制を採りました。
- (2) 避難訓練は毎月1回実施し、非常時の対応の訓練にしました。
- (3) 感染症対策は検温、うがい、手洗の定着、指消毒、マスク着用などの衛生指導や健康管理の他オゾンによる空気消毒等を行いました。
- (4) 虐待防止は事例研究、自己診断、虐待防止の研修会を行いました。
- (5) 各自の問題意識にそった研修に参加して、指導力向上を図りました。
- (6) 玉野市障害者総合支援協議会子ども部会に参加しました。

## 令和5年度 相談支援事業所のぞみ事業報告

### 1 事業内容

- (1) 特定相談支援事業 玉野市指定
- (2) 障害児相談支援事業 玉野市指定
- (3) 一般相談支援事業（地域移行・地域定着） 岡山県指定
- (4) 玉野市地域生活支援事業（相談支援事業） 玉野市委託事業  
以下の事業を含む
  - ① 玉野市障害者総合支援協議会の運営
  - ② 相談支援機能強化
  - ③ 住居入居等支援
  - ④ 成年後見制度利用支援
- (5) 玉野市障害支援区分認定調査 玉野市委託事業

### 2 相談支援活動状況報告

- (1) 相談件数 \*別紙参照
- (2) 認定調査件数 25件
- (3) 計画作成/ヒアリング件数 801件  
精査してモニタリング件数は微減。

### 3 成果

#### (1) 相談支援体制について

管理者1名（兼務）、相談支援専門員3名（専従）の4名体制で事業を実施。4月当初は3名で1月中旬からケガにより求職しており、兼務1名期間限定で配置。

電話による相談や行政との協議などは都度設けている。

#### (2) 玉野市障害者総合支援協議会の運営について

本年度も新型コロナウイルス感染症流行以前のペースで会議開催はできている。

### 4 課題

医療的ケア児、強度行動障害、災害対策、親亡き後問題など多くの課題があり、行政や地域を巻き込んだ包括的な支援が必要とされている。

地域生活支援拠点整備は面的整備とされているが、活発に活動できているとは言い難く、緊急時の受け入れ先などの機能強化が求められる。

相談支援専門員の退職による人員の減少、相談支援事業所の閉鎖が続き市内での相談支援専門員不足が顕著にみられる。

委託相談を行える相談支援専門員の育成、技能の向上が課題となっている。

継続的に感染防止を図りながらの会議開催、訪問を行っていく必要がある。インターネットの活用、研修開催のノウハウが必要である。

### 相談支援事業実績報告書

(障害者総合支援法)

事業所名 相談支援事業所 のぞみ  
 〒7060143  
 所在地 岡山県玉野市木目1461番地  
 電話：0863710110  
 自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

(相談支援を利用している等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳機能障害 (7)	その他 (8)
障害者 (01)	298	59	7	202	27	0	0	3
障害児 (02)	12	0	0	7	5	0	0	0
計 (05)	310	59	7	209	32	0	0	3

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話等相談 (4)	個別支援会議 (5)	関係機関 (6)	その他 (7)	計 (8)
件数 (07)	822	135	10	1549	30	338	1791	4675

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援 (1)	障害や病状の理解に関する支援 (2)	健康・医療に関する支援 (3)	不安の解消・情緒安定に関する支援 (4)	保育・教育に関する支援 (5)	家族関係・人間関係に関する支援 (6)	家計・経済に関する (7)	生活技術に関する支援 (8)	就労に関する支援 (9)
件数 (07)	2839	834	1262	826	98	764	270	1738	806
ピアカウンセラー (再掲) (08)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	社会参加・余暇活動に関する支援 (10)	権利擁護に関する支援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件数 (07)	40	60	169	9706
ピアカウンセラー (再掲) (08)	0	0	0	0

## 令和5年度 高齢者関連施設等事業報告書

### 1. 高齢者関連施設等の設置・運営

- ・ 地域密着型特別養護老人ホーム笑福亭（平成24年7月1日開設）  
事業種別：地域密着型特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）  
所在地：岡山県岡山市中区桑野525番125  
定員：29名（全室個室・3ユニット）
- ・ 笑福亭（平成24年7月1日開設→平成29年9月5日休止⇒平成30年6月再開）  
事業種別：短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護  
定員：10名（全室個室）

### 2. 目的

高齢化社会の進展に伴う地域の高齢者介護のニーズに応えるべく、平成24年7月1日より岡山市中区桑野に地域密着型特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業を整備し、約10年が経過した。

地域社会の生活状況に密着した施設づくりを目標とし、地域の要介護高齢者のニーズの把握に努め、高齢者やその家族が安心して介護を受けることができるよう施設機能の充実に努めてきた。

事業所地域で活動する医療・介護・福祉関係の他機関との連携を深めるとともに、地域住民との交流も含めた様々な取り組みを行えるように努めてきたが、コロナ感染渦で、令和4年度も引き続き「夏まつり」には中止とし、地域の方、ご入居、ご利用の皆様と地域との関りが中断していることが非常に残念と感じている。

### 3. 基本方針

質の高い介護サービスの提供と安心・安全な介護を実現するべく、施設職員、とりわけ介護・看護職員の教育体制の充実を重視し、施設サービスの基本でもある「自立の支援」と「安心・安全な施設づくり」を実現することを目標とした。

#### ・「自立の支援」

日常生活において介護や生活支援が必要な状態になったとしても、常に自己決定ができるような環境づくり・支援に努め、それに基づいた施設介護サービス計画を作成し、その計画に従って適切な介護サービスを提供していくことを基本とする。

#### ・「安心・安全な施設づくり」

介護サービスを提供するべき事業者としては、日常から利用者の健康管理に努め、常に健やかな生活が出来るように支援するとともに、感染症の蔓延や介護事故等の予防と対策に留意し、施設での生活を「安全」なものとなるように努める。また、家族にとっては施設が「安心」して自分の家族の介護を受ける場であることを保障するとともに、地域住民にとっても「安心」して利用できる施設であり、かつ非常災害時には地域住民が一時避難場所として施設の機能を活用できるよう、期待されるべき機能を認識した上で、その維持向上に努める。

#### ・「ひとりひとりの思いや夢を形に」



ご利用される方の個性を尊重した介護や生活支援を行い、それぞれが持つ「思い」や「夢」を少しでも実現していくことができるよう創意工夫する。

またご利用者だけではなく、ご家族やそこで働く職員の「思い」や「夢」をも実現できるように働きかけることが、そこに集う全ての人の「笑顔」を引き出し、なおかつ「幸福」な気持ちを維持していくことにつながると考える。笑顔が満ち溢れ、幸福な気持ちを感じ取れる、そうした施設づくりの実現を大きな目標とする。

**【職員目標】**

1. 私たちは、人間同士の関わりが中心となる仕事に就くものとして、愛情と忍耐と使命感のもと、お互いの人格を尊重し合い、利用者の基本的人権と尊厳が損なわれないようにしていきます。
2. 私たちは、障害者、健常者、家族、地域の共同と連帯を目指し、人としての価値は常に平等であり、地域の住民という役割を果たせるよう、社会参加実現に向けて支援していきます。
3. 私たちは、障害者が一人の人間として地域で生活するために、個々の目標とニーズに基づき、「自立」に向けて現実的・具体的な生活力がつくように支援していきます。

**4. 利用実績報告**

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム

定員	延入居者数	延入居日数	稼働率	新入居者数	退去数	平均介護度		平均年齢
						男性	女性	
29名	360名	10482日	98.7%	12名	12名	4.13	3.73	83.6歳

\*最高齢者 女性103歳、男性100歳 最年少 女性73歳、男性75歳

\*別紙 参考資料 R4・R5 利用実績を参照

- ①稼働率については、令和4年度が98.2%、令和5年度が98.7%と僅かに改善している。
- ②入院者については、令和4年度が632日、令和5年度は554日と改善している。
- ③退去者内訳について死亡5名の全てが施設内看取りだった。長期入院の為の退所者3名の内2名が3カ月以内に死亡されている。家族希望により他法人特養へ入所1名、介護医療院入院1名の計2名だった。

(2) 短期入所生活介護事業所

定員	延利用者数	延利用日数	稼働率	平均介護度		平均年齢
				男性	女性	
10名	212人	2301日	62.8%	2.6	2.42	83.7歳

- ① 特例入所1床分は、短期入所利用の中に含めている。
- ② 稼働率については、令和4年度は、59.3%、令和5年度が62.8%と僅かに改善している。
- ③ 最高稼働率が令和4年5月期70%、令和5年度8月期が85%だった。
- ④ 8月から9月にかけて特養2階で新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生したが、短期利用受入れを継続したため、令和4年度のように極端に利用者が減る事がなかった。

5. 職員の採用状況及び配置状況（参考資料 令和5年度入退職の状況を参照）

(1) 新入職者数 10名（介護2名 介護兼ケアマネ1名、生活相談員兼介護1名、看護師パート1名、介護パート1名、宿直職員1名、技能実習生1名、特技能実習生2名）

(2) 退職者数 6名（介護職員2名、介護兼ケアマネ2名、管理栄養士1名）

退職者の退職理由として、健康上の問題3名、居宅支援事業所でのケアマネへ転職1名、配偶者の看護の為の退職1名、入居者への暴言や不適切介護等の行為があった介護職員を注意したところ出勤拒否した介護職員1名、家庭の事情による退職者1名。

特に健康上の理由で、65歳以上の介護職員で認知症になったケースがあり、今後同様のケースが生じる場合も想定されるので、就業規則等を一部見直す必要を感じた。

(3) 職員配置状況（令和5年3月31日）

職員数内訳（地域密着型特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護）

職種別	定数 (基準省令による)	現員	備考
施設長	1名	1名	
医師	1名	1名	嘱託・非常勤
生活相談員	1名	2名	嘱託・正職（介護兼務）
事務員	必要数	1名	嘱託
介護職員	利用者の総数を3で 除した数（看護職員を 含む）13名	20名 (看護師含まず)	常勤換算：19.2人 内2名は介護支援専門員兼務
看護職員	1名	6名	正職1名・嘱託2名 パート3 名（特養常勤換算3.4名 短期 常勤換算1名）
栄養士	1名	1名	管理栄養士を配置
機能訓練指導員	1名	2名	看護師パート1、PTパート1
介護支援専門員	1名	2名	介護職員兼務
調理員	必要数		業務委託
宿直員	1名	2名	月火金1名 土日1名
環境整備員	必要数	1名	
合計		37名	(兼務者は除く)

(4) 技能実習生・特定技能実習生の状況

①技能実習生 2名（内1名は他法人より転職） 国籍中国（2名とも女性）

②特定技能実習生（技能実習生から特定になった者） 1名 国籍ベトナム（女性）

③特定技能実習生（他法人からの転職） 2名

国籍中国1名（男性）、国籍ミャンマー1名（女性）

④特定技能実習生（ミャンマーから直接入国） 女性2名

6. 年間行事の実施状況

地域密着型特別養護老人ホーム 笑福亭

月度	曜日等	行事内容
4月	初旬	桜花見外出
	第3水曜日	管理会議・事故防止委員会・身体拘束廃止虐待防止委員会・入所判定会議
	19日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
5月	第3水曜日	管理会議・事故防止委員会・身体拘束廃止虐待防止委員会・入所判定会議
5月	25日	第2回虐待防止委員会（派遣業者含む）
	29日	給食委員会
6月	1～30日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	管理会議
	28日	職員健診（特定健診、腰痛）
	1日～30日	褥瘡管理研修（パラマウントベッド㈱）
	27日～	虐待防止研修
7月	1～31日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	6日、19日	事故防止研修（安全勉強会 講師 パラマウントベッド㈱）
	19日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
	20日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）
	12日	消化訓練・避難訓練（火災）
	26日	消防機器点検
8月	1～31日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・管理会議
	25日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）
9月	1～30日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	10日	感染症委員会
	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	20日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
10月	初旬	コスモス花見（三幡水の手公園）
	13日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）

	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議
11月	8日、22日	感染対策講習会（サラヤ㈱）
	16日～	虐待防止接遇研修 2月下旬まで
12月	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	22日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）
	8日、20日	職員健診（生活習慣病、特定健診他）
	20日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
	25日	クリスマス会（ボランティアによるフルーツ演奏等）
1月	1日～10日	笑福神社参拝・記念撮影
	14日	岡山市指導監査
	17日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
	18日～29日	不適切ケア研修会
2月	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	19日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）
	23日	防災訓練（夜間想定・大規模地震想定訓練）
3月	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議
	26日	感染症委員会
	26日	消防設備点検
	20日	虐待防止・身体拘束廃止委員会
	29日	給食会議（笑福亭・エスポワールクワノ・ベネミール）
	下旬	お花見（岡南飛行場付近・浦安・新岡山港）

## 7. 経営改善の途中で明らかになった問題

### (1) 超過勤務手当の問題

- ①タイムカードを基に、超過勤務の申請無く手当を支給していたため、令和5年度入り月40万円から50万円程度の手当が支給されていた。
- ②対策として、10月から労務管理を笑福亭で行い、用事もなく居残る職員に指導し、夜勤明で日勤者に任せ帰宅するよう促した結果、大幅に支出を改善できた。

### (2) 技能実習生と特定技能実習生の問題

- ①技能実習生、特定技能実習生に関して、日本人職員が確保困難ため、技能実習生（他法人より転籍）1名、特定技能実習生（ミャンマーから直接入国）2名を採用したが、特にミャンマーらの特定技能実習生が未経験にも関わらず、実務者研修を修了している介護職員（嘱託）よりも基本給が高くなるという状況になった。
- ②前年度から在籍している特定技能実習生3名の内、夜勤が可能な者は1名で、他2名は日本人が付き添わないと夜勤が困難な状況で、身体状況の変化や日本語理解の問題から看護職員を付き添わせているため、夜勤のコストが上がっている。
- ③令和4年度から受け入れている技能実習生が、コロナ感染渦で入国が遅れたため、日本語を忘

れており、粘り強く指導しているが性格的なものと日本語理解力が低いため、人件費に見合った仕事が出来ていない。

- ③管理団体2団体へ支払う費用が、年間で250万円を超えており、医療介護ネットワークからの特定技能実習生は、給与、家賃扶助、管理台への費用、法定福利費を入れると月30万円程になり、事務費を押し上げている。

### (3) 新型コロナウイルスの施設内感染

- ①令和5年8月23日に、近隣の精神科病院へ受診した入居者から、2階特養で職員を含め10人が感染しクラスター化した。嘱託医の対応で重症化した者が少なかったが、2名が重症化して長期入院することになった。
- ②嘱託医の判断で、保健所からの指示よりも5日長くユニット閉鎖したため、ガウン等、使い捨て食器などが足りなくなり、追加購入する事になった。
- ③前年度7月の掛かりまし経費の補助が令和5年1月に入金されたため、今年度は早く掛かりまし経費を請求したが、岡山県から補助入金は遅延すると連絡があり、補助金の入金の時期が不明で前年度と同じ状況である。

### (4) 排水設備及び空調機他備品の故障による支出

- ①認知症入居者がおしぼりやパッドを流した事による、配管の詰まりがあったため、配管詰まりの工事費が発生した。また、浄化槽内に尿取りパット、おしぼりが蓄積してポンプに負荷がかかり故障した為修理した。
- ②地盤沈下による汚水パイプの破損により、汚水が地下に流れ出て排水が詰まってしまうことが笑福亭東側で2回発生し、設計会社に連絡して保障を求めたが認められず費用を支払った。
- ③居室、ユニットのリモコンが軒並み故障して交換した。また、前年度修理したエアコン室外機の反対側の室外機に異常が出て修理依頼したところ、前年度と同じくコンプレッサーの不良であった。メーカーに問い合わせたところ、室温の設定が冷房だと18度、暖房だと30度など極端に設定する職員が数名おり、通常であれば20年耐用がある物が過負荷で故障している可能性が高いと指摘がり、デマンドコントローラー（電気使用量制御装置）等の導入を勧められた。

## 8. 業務委託契約の見直し

- (1) 警備、消防設備、清掃等を全て飛鳥警備保障に委託していたが、飛鳥警備保障が委託する清掃業者等数社が、本来行うべき業務を遂行していない事が発覚した。(例えば、厨房の床清掃、レンジフードを清掃済みとなっているが、実際は床清掃を行っていない。レンジフードのステンレス部のみ磨き、換気扇は清掃しない。屋外のグリストラップは薬を送るだけで月の清掃はせず、ベネミール職員が清掃を行っていた。)
- (2) 飛鳥警備保障以外の業者と委託内容、契約金額について協議して、清掃、害虫駆除、エレベータ保守は他社に依頼する事にした。

## 令和5年度 エスポール・セルフ事業報告書

### 1. 事業の目的と運営

今年度も引き続きコロナ、インフルエンザなどの感染症対策等を取りながら作業や活動に取り組んだ。感染者の拡大等はなかったが、マスクの着用、感染予防など徹底した。

作業では個々の能力等に応じた取り組みを行い、個別支援計画に基づき自立を促し本人の特性や成長につながる支援を行った。個別支援計画は6か月程度に1回モニタリングを行った。

### 2. 運営の実績

程度区分

令和6年3月31日

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
14名	0名	3名	3名	10名	0名	0名	30名

岡山市 29名      赤磐市      1名

療育手帳A      6名                      療育手帳B      21名

身体障害者手帳   5名                      精神保健福祉手帳   2名

利用状況及び延べ利用者数      定員35名（主20名・従15名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	22	22	24	22	23	22	23	24	22	21	22	22	269
契約者数	33	33	32	32	32	32	32	32	32	31	31	30	
延利用者	632	642	666	632	627	624	653	651	592	542	560	579	7400
稼働率%	82.1	83.1	81.5	82.2	77.9	80.8	81.1	77.3	77.0	73.9	72.5	75.3	78.8
常勤換算	10.6	10.4	9.1	10.2	9.9	10.5	9.9	9.8	9.9	9.4	8.9	8.9	

5月、12月、2月に各1名退所

令和5年3月31日現在30名      （主19名 従11名）                      30名

#### 職員配置

管理者1名      サービス管理責任者2名（1名管理者兼務・1名生活支援員兼務）

生活支援員5名                      常勤3名      非常勤1名                      生活支援員兼務事務1名

職業指導員7名                      常勤3名      非常勤4名

目標工賃達成指導員4名                      非常勤4名

前年度の利用平均人数（27.1名）に対し人員配置体制（7.5:1）の常勤換算で4.0以上を配置し目標工賃達成指導員1.0以上を配置し常勤換算5.0以上

加算状況

食事提供加算、福祉専門職加算（I）、目標工賃達成指導員配置加算、送迎加算  
欠席加算、訪問加算

### 3. 作業の状況

主：点字ブロック作成、農作業、雑貨等

従：点字関連作業、軽作業、委託販売、セルフセンター依頼作業等

	月額平均	年間総工賃	年間総収入
元年	26,406	10,987,470	18,905,700
2年	11,885	5,003,470	8,934,500
3年	10,654	4,218,850	6,060,905
4年	13,614	5,009,920	8,523,871
5年	19,589	6,487,820	10,942,417

令和5年度はコロナが5類から2類になり工賃額、収益ともに向上した。

#### 4. 職員研修 外部研修

日程	内容	会場
R5. 7. 20	中四国知的障害職員研究協議会	岡山コンベンションセンター
R5. 10. 20	キャリアパス制度の構築と運用	きらめきプラザ
R5. 10. 25	アンガーマネージメント研修	西川原プラザ
R5. 10. 31	人事労務	オンライン
R5. 11. 22	卒業後を見据えた自己理解支援のあり方について	オンライン
R5. 11. 25	業務改善計画	きらめきプラザ
R5. 12. 21 ~22	サービス管理責任者実践研修	生涯学習センター
R5. 12. 8	中四国社会就労センター協議会研修	岡山コンベンションセンター
R6. 1. 15	虐待防止研修	ウェルポートなださき
R6. 2. 10	岡山市障害者自立支援福祉サービス部研修会	ウェルポートなださき
R6. 2. 14	強度行動障害支援管理者向け研修	岡山国際交流センター
R6. 2. 20	ウインターセミナー	生涯学習センター
R6. 2. 22	要配慮者利用施設避難確保計画	岡山市役所

#### 施設内研修

- 岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修（動画配信）  
毎日終礼時に虐待防止項目を全員黙読・年2回自己チェックリスト
- 感染症対策研修
  - 動画等研修・・・手洗い・新型コロナウイルス等感染症・食中毒について、
  - 実践研修・・・嘔吐物の処理等）
- 防災研修 動画・実践（送迎時での災害対応について・避難確保計画）

#### 5. 行事

4月4日	入所式	11月17日	社会見学合同 蒜山高原
6月3日	ナイスハート	12月22日	クリスマス会
7月5日	健康診断	1月12日	成人式新年会
7月30日	北ふれあい祭り	3月25日	総合避難訓練
10月6日	セルプ合同運動会		

自治会・誕生会は毎月開催した。(代表者による参加とオンラインでつなぎ意見が届くように配慮した)

ふれあいクラブ(銭太鼓)は第2種水曜日を基本として取り取り組んだ。

自立訓練活動・日常訓練活動月に2回程度取り組んだ。(生活支援、防火・防災訓練、調理活動、季節の楽しみ、清掃活動等)

#### 6. 虐待防止への取り組み

毎月、虐待の芽チェックリスト行い、年に2回、虐待に関するセルフチェックリストを行った。調整会議の中で虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を行いセルフチェックリストについては、虐待防止委員会からフィードバックを行った。虐待防止委員会が施設内研修も実施し相互理解を深めより良い支援体制の構築が出来るようにした。

#### 7. 保健・衛生(感染症への取り組み)

事業所内での感染症の情報共有や感染対策についての見直しを行った。

コロナウイルス感染やインフルエンザは数名発生したが流行はなかった。

#### 8. 防火・防災

地震・火災・水害への避難訓練を行った。11月に起震車体験を含めた避難訓練、

3月には地域の馬屋下消防団と合同で避難訓練・消火訓練を行った。

また施設内研修にて東日本大震災を教訓に施設内研修を行った。

従の事業所が土砂災害区域になった為要配慮者避難計画を作成し危機意識を高めるとともに災害備蓄品の充実に努めた。

#### 9. 事業継続計画(BCP)

感染症及び非常災害が発生した場合に事業を継続できるよう、この2項目においての事業継続計画を作成した。年度後半に職員に周知し、次年度に訓練等が行えるように取り組んだ。感染症に関しては法人で対策委員会を適宜開催した。

#### 10. 送迎

自力自転車通所者4名 自力での通所が困難な利用者には送迎等を行い4方向に向けて実施した。運転業務に携わる前には、アルコールチェッカーで検査を行うとともに、安全運転に努めた。大きな事故はなかった。

#### 11. 支援学校実習

- ・令和6年1月29日(月)～2月2日(金)岡山西支援学校高等部2年生1名
- ・令和6年2月5日(月)～2月9日(金)岡山西支援学校高等部2年生1名



## 令和5年度エスポアール・スター（生活介護）事業報告（案）

### 1. 事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、個々の日常生活能力に応じた活動を通じて日常生活動作の維持・向上に向け支援を行った。また、毎日通いたくなるような事業所になるよう、利用者の人権、人格、意思決定を尊重し、療育活動、作業など利用者主体の様々なサービス提供を行った。

### 2. 運営の実績

#### (1) 障害支援区分（令和6年3月31日現在）

区分5	区分6	合計
17名	22名	39名

#### (2) 利用状況及び延べ利用者数と出勤率（定員37名に対して）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	22	24	22	23	22	23	24	22	21	22	22	269
延利用者	662	679	759	688	687	628	719	716	673	629	645	670	8,155
稼働率(%)	81.3	83.4	85.5	84.5	80.7	77.1	84.5	80.6	82.7	81.0	79.2	82.3	81.9

（契約者数 4月：38名、5月以降入所者1名あり、39名）

#### (3) 主な加算状況

人員配置体制加算	I（1.7：1）
食事提供体制加算	毎月委託栄養士による献立表配布。施設内調理
福祉専門職員配置等加算	I（社会福祉士及び介護福祉士の有資格の常勤職員が全常勤職員の35%以上）
欠席加算	欠席時に、相談援助を実施
重度障害者支援加算	強度行動障害支援者養成研修基礎・実践研修修了者9名
送迎体制加算	一回の送迎につき平均10人以上利用。かつ、週3回以上の送迎実施に該当
送迎体制加算（重度）	送迎を利用するもののうち、区分5もしくは区分6に該当するものが100分の60以上に該当

#### (4) 利用者支援の状況

午前各グループで、作業（点字ブロック委託作業・軽作業・ボカシ作成作業・リサイクル活動・農作業等）を行い、それに対する対価として工賃を支払った。毎月100円～1000円支給した。午後からは療育的活動（音楽活動や創作活動、健康活動等）を定期的、計画的に行った。その他運動やリハビリ的な活動を取り入

れたり、ADLの向上に向けて身辺自立が確立できるよう支援を行った。

### 3. 職員配置状況（人員配置体制加算Ⅰと重度障害者支援加算を算定）

常勤換算 18.1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤換算後の 人数	19.8	20.9	21.2	20.3	20.9	20.9	20.8	20.6	20.5	20.3	20.3	19.8

○職員配置は前年度の利用平均人数（29.1名）に対し、人員配置体制（1.7：1）の常勤換算で17.1のところ、1日10名の利用者に重度障害者支援を行うため、重度障害者加算体制としてプラス1.0以上（18.1人）の職員を配置した。

管理者	1名（相談支援事業所エスポール管理者兼務）
サービス管理責任者	2名（うち、1名は主任生活支援員と兼務）
看護師	1名（非常勤）
医師	1名 協力嘱託医は同仁病院
生活支援員	常勤専従16名（サビ管兼務1名含む） 非常勤専従10名（事務員兼1名含む）

（令和6年3月31日現在）

### 4. 職員研修とBCP（事業継続計画）訓練・研修

- ・サービス管理責任者実践研修
- ・強度行動障害支援者養成研修 基礎研修、実践研修
- ・岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修（動画配信）
- ・感染症対策研修（手洗い・新型コロナウイルス・食中毒について・嘔吐物の処理実践研修について）
- ・防災研修（送迎時での災害対応について・避難確保計画）

### 5. 虐待防止への取り組み

毎月、虐待の芽チェックリスト行い、年に2回、虐待に関するセルフチェックリストを行った。調整会議の中で虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を行いセルフチェックリストについては、虐待防止委員会からフィードバックを行った。虐待防止委員会が企画し施設内研修も実施した。

### 6. 保健・衛生（感染症への取り組み）

事業所内での感染症の情報共有や感染対策についての見直しを行った。  
新型コロナウイルス感染症の流行はなかった。

### 7. 防火・防災

地震・火災・水害への避難訓練を行った。11月に起震車体験を含めた避難訓練、3月には地域の馬屋下消防団と合同で避難訓練・消火訓練を行った。

#### 事業継続計画（BCP）

感染症及び非常災害が発生した場合に事業を継続できるよう、この2項目においての事業継続計画を作成した。年度後半に職員に周知し、次年度に訓練等が行えるよ

うに取り組んだ。感染症に関しては法人で対策委員会を適宜開催した。

## 8. 送迎

自力での通所が困難な利用者のために、送迎サービスを11方向で行い、また、短期入所事業所への送迎も適宜行った。運転業務に携わる前には、アルコールチェックで検査を行うとともに、安全運転に努めた。大きな事故はなかった。

## 9. 主な行事等（避難訓練は、火災・地震・水害・津波のいずれかを毎月実施）

4月	入所式（リモート交流）	10月	社会見学（第5：蒜山／1・4：ドイツの森）
6月	ナイスハート倉敷	11月	インフルエンザ予防接種・総合避難訓練
7月	総合健康診断	12月	クリスマス会（リモート交流）
9月	運動会（馬屋下小体育館）	1月	20歳を祝う会（リモート交流）
		3月	地域交流・内科検診・総合避難訓練 BCP訓練（防火防災・保健衛生）

## 10. 支援学校実習

- ・令和5年10月2日（月）～5（木）岡山支援学校高等部2年生1名
- ・令和5年10月10日（火）～13（金）、11月6日（月）～10日（金）  
誕生寺支援学校高等部3年生1名

## 令和5年度事業報告

相談支援事業所 エスポアール

平成24年4月より相談支援事業所エスポアールを開設し、障害者・児及び保護者等からの様々な相談に応じています。又、障害者・児の自立した生活を支え、障害者・児の抱える課題の解決に取り組み、更には、適切な福祉サービスの利用に向けて、サービス等利用計画を作成しています。

### 1 相談受付件数

相談内容	延件数
サービス等利用計画の作成について(セルフプラン)	259
施設(事業所)利用、見学について	8
就労について	2
計	269

### 2 【計画相談支援者】障害別件数 (重複障害を含む)

障害	男性	女性	計
知的障害	94	41	135
身体障害	13	9	22
精神障害	73	39	112
計	180	89	269

### 3 【計画相談支援者】年齢別件数

年齢	男	女	計
18未満	25	5	30
18～30	68	7	75
30～40	19	43	62
40～50	23	23	46
50～65	45	9	54
65以上		2	2
計	180	89	269

### 4 【計画相談支援者】居住地別件数

居住地	男	女	計
岡山市	174	87	261
倉敷市	0	0	0
赤磐市	6	2	8
備前市	0	0	0
計	180	89	269

5 前年度からの計画相談継続件数  
76件

6 令和5年度の計画相談実施件数(待機)  
79件(0件)

7 職員体制

管理者(兼) 1名  
相談支援専門員(専従) 1名【令和5年3月現在】

令和5年度 地域生活支援事業報告

日中一時支援事業 エスポアール・セルプ

1 利用状況

性別／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男(0)													0
女(0)													0
合計													0

令和6年3月31日現在

利用がなかった。

令和5年度 地域生活支援事業報告

日中一時支援事業 エスポアール・スター

1 利用状況

性別／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男(1)									2			4	6
女(1)	2		2		1			3					8
計	2		2		1			3	2			4	14

令和6年3月31日現在

12月と3月は高校3年生の男性

# 令和5年度エスポアール・クワノ（生活介護）事業報告書（案）

## 1、事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、個々の特性・能力に応じた日中活動を通じ、日常生活動作の向上に向け支援を行った。また、「ひとりひとりが輝ける」よう、利用者の人権・人格を尊重し、利用者主体のサービス提供を行った。

## 2、運営の実績

### (1) 障害支援区分

令和6年3月31日現在

区分4	区分5	区分6	合計
1名	8名	14名	23名

うち、重度障害者支援対象者 16名

### (2) 利用状況及び延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	22	24	22	23	22	23	24	22	21	22	22	269
延利用者	375	396	424	361	402	361	396	407	411	381	383	400	4697

### (3) 主な加算状況

人員配置体制加算	I (1.7 : 1)
食事提供体制加算	
福祉専門職員配置等加算 I・II	【IIは社会福祉士及び介護福祉士の有資格の常勤職員が全常勤職員の25%以上。2月よりI(同35%以上)】
欠席加算	欠席時に、相談援助を実施
重度障害者支援加算	重度障害者に対して手厚い支援を実施
送迎体制加算	一回の送迎につき平均10人以上利用。かつ、週3回以上の

	送迎実施に該当
送迎体制加算（重度）	送迎を利用するもののうち、区分5もしくは区分6に該当するものが100分の60以上に該当

#### （4）利用者支援の状況

午前は小グループでの療育活動（運動・内職練習・創作）を行い、午後は2グループでレクリエーション・運動・創作活動等を行った。（新型コロナウイルス感染予防のため、不特定多数との接触可能性のある外出は控えた）

### 3. 職員配置状況（人員配置体制加算 I (1.7:1) と重度障害者支援加算を算定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必要人数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
常勤換算後の人数	12.5	12.2	12.3	12.4	11.9	12.2	12.8	12.7	12.9	11.9	11.6	12.1

○職員配置は前年度の利用平均人数（17名）に対し、人員配置体制（1.7：1）の常勤換算で10

人以上を配置した。重度障害者支援を行うため、常勤換算10人に1人プラスして配置

#### ●令和6年3月31日現在の職員の状況

管理者兼サービス管理責任者	1名
看護師	1名（非常勤）
生活支援員	常勤専従8名 非常勤専従7名（事務員兼1名含む）

### 4. 職員研修

新型コロナウイルス感染防止をしながら、自己研鑽や資格取得の研修に参加できた。WEB研修は積極的に参加した。その内容は職員会議の中で報告し、職員の理解向上



に努めた。

施設内研修で、配信動画を使った研修（虐待防止及び身体拘束禁止・感染症対策・防災学習・事業継続計画）をいずれか毎月行った。

#### 5. 虐待防止・身体拘束の適正化への取り組み

法人内で虐待防止員会・身体拘束適正化委員会を開催し、内容は全職員に通達した。また、自事業所でも委員会を開催し、現状把握や適切な支援が行えるよう取り組んだ。公的な配信動画や研修資料を基に虐待・身体拘束に対する学びの場を設けた。また、虐待のアンケートを実施し、気になる点がある場合は早めに気づきと解決に向けた行動に移した。

#### 6. 事業継続計画（BCP）

感染症及び非常災害が発生した場合に事業を継続できるよう、この2項目においての事業継続計画を作成した。年度後半に職員に周知し、次年度に訓練等が行えるように取り組んだ。感染症に関しては法人で対策委員会を適宜開催した。

#### 7. 送迎

自力での利用が困難な利用者のために、送迎サービスを岡山市内5方向で行った。大きな事故などはなかった。

#### 8. 主な行事等（避難訓練は、火災・地震・水害・津波のいずれかを毎月実施）

6月・・・ミニ運動会、健康診断

12月・・・インフルエンザ予防接種、社会見学（10月はコロナで延期）

クリスマス会

2月・・・内科検診・健康相談

令和5年度  
日中一時支援エスポアール・クワノ  
事業報告（案）

- ・令和5年8月より事業を開始した。
- ・事業場は高齢者施設「笑福亭」の1階。
- ・レスパイト5名・タイムケア3名。一日の受け入れ定員5名とした。

- 今年度は、エスポアール・クワノの生活介護事業を主の事業とし、生活介護事業の定員を超える利用希望があった際に、日中一時支援で受け入れを可能とするよう取り組んだ。
- 行事等で日中一時支援の利用が見込まれたが、生活介護事業のみで当日の受入が可能だったため、本年度の日中一時支援の利用はなかった。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 令和5年度 救護施設たましま寮事業報告書

令和6年3月31日

令和5年度も、前年に引続き個別支援計画に基づく個別支援を実施いたしました。随時、見直される個別支援計画・目標が利用者の要望に沿った形で成されるよう職員に周知徹底いたしました。さらに、利用者の高齢化に伴う残存機能維持強化にも努めました。

コロナ禍の中、利用者一人ひとりが心豊かな生活が毎日送れるように個別支援計画の見直しを行い、個別支援目標が利用者への押し付けにならないように配慮し、個別支援計画のレベルアップも図りながら事業計画どおりに利用者支援を行いました。

また、本年度も施設内職員研修を4回実施し、職員のレベルアップにも務めました。

## 実施内容

### 1 個別支援計画

利用者の希望を的確にアセスメントしながら、ニーズの把握・整理を適切に行い個別支援計画と支援目標を作成した。

福祉サービス提供者として、支援目標に沿った支援を実践し、また、ユニット活動、クラブ活動、余暇活動等に参加することで、自立意識の向上、生活意欲の向上を図り、具体的に支援目標に沿った支援に取り組んだ。

### 2 居室環境の整備・グループ別援助の分担

利用者の状態に合わせてユニット別に編成し、心豊かな生活を送

れるように様々な行事を計画し余暇の充実等を図り生活の質の向上に取り組んだ。

3 利用者の地域生活移行への取り組み

本年度の地域移行者はいなかった。

4 職員のレベルアップ

内部研修会を4回行い職員の資質向上に努めた。

5 苦情解決

苦情受付 3件 苦情解決 3件

6 施設状況

定員 40名 現員 38名

平均年齢 65.0歳 最年少 21歳 最年長 85歳

平均在所期間 19年2ヶ月 最長在所期間 62年

新規入所者 5名 退所者 6名

7 行事实績表

レクリエーション	
月	内容
4月	花見(3/30)(木)(前年度中に行う)
	昼食お弁当選択メニュー(4/19)(水)
5月	祭り(5/16)(火)
	おやつ選択メニュー(5/24)(水)
6月	おやつバイキング(6/28)(水)
7月	七夕祭り(7/7)(金)
	爽やかレクリエーション・昼食弁当(7/11)(火)

	昼食選択メニュー(7/28)(金)
8月	おやつバイキング(8/16)(水)
9月	還暦・喜寿祝賀会(9/5)(火)
	おやつ選択メニュー(9/6)(水)
10月	祭り(10/3)(火)
	昼食主食バイキング(10/17)(火)
11月	おやつ選択メニュー(11/8)(水)
	ゲーム大会・昼食弁当(11/14)(火)
	合同文化祭(11/16)(木)
12月	クリスマス会・昼食弁当(12/22)(金)
1月	雑煮(1/5)(金)
	ぜんざい(1/10)(水)
2月	節分(2/2)(金)午後
3月	ひな祭り(3/1)(金)午後
	昼食選択メニュー(3/13)(水)
	1.防災避難訓練(月1回)
	2.誕生日会(毎月第2木曜日 15:00～、12月は第1火曜日)
	3.特別相談(随時)
	4.給食相談(随時)
	5.地域美化活動(随時)
	6.富田幼稚園・小学校との交流(随時)
	7.富田地区との交流(随時)
	8.企画会議(随時)
	9.相談員・介護職員会議(毎月第4木曜日、11月は第5木曜日)
	10.ケース会議(毎月第4木曜日、11月は第5木曜日)
	11.職員研修(5/9(火)・8/8(火)・11/7(火)・2/6(火)、10:00～11:00)
	12.移動図書(毎月第4水曜日 14:40～15:10)
	13.懇談会(隔月第2木曜日 13:30～、12月は第1火曜日)
	14.エアロビクス(毎月第2・4水曜日)→外部講師
	15.銭太鼓クラブ(毎月第1・第3木曜日)→外部講師
	16.お花クラブ(毎月第4月曜日)→外部講師
	17.お楽しみ会(月1回)

